

抗がん剤プロトコール 届け票

申請日	2022年 4月 1日																							
申請者	所属科:血液内科	医師名: 和田 恵里																						
抗がん剤プロトコール内容																								
略名	ELd療法 (エムプリシティ+レブラミド)																							
適応臓器名	再発または難治性の多発性骨髄腫																							
薬剤名	エムプリシティ 一般名 エロツズマブ (遺伝子組換え) 注射液 レブラミドカプセル 一般名 レナリドミド水和物カプセル デカドロン錠 or デキサート注 一般名 デキサメタゾン																							
注意点	薬剤の注意点を遵守すること。																							
用法・用量・投与スケジュール																								
4週間隔で投与 クール数によって エムプリシティ投与日注意 Day1, 8, 15, 22 (初回~2クール) Day1, 15 (3クール以降) カロナール 200mg 3錠 1錠 エムプリシティ投与1から3時間前に内服 生食 100mL デキサメタゾン 6.6mg 1V (患者に合わせて適宜調整も可) 40mg まで ファモチジン 20mg 1A ポララミン 2mg 1A 30分で投与 生食 250mL エムプリシティ点滴静注用 10mg/kg 注射用蒸留水 20mL 30mL/hr から開始 (下表参照) Day1-21 レブラミド内服 25mg/日/body 21日間内服 7日間休薬 デキサメタゾン 40mg 週 (患者に合わせて適宜減量も可)																								
【投与速度】 本剤は0.5mL/分の投与速度で点滴静注を開始してください。 患者の忍容性が良好な場合は、患者の状態を観察しながら、投与速度を以下のように段階的に上げることが可能です。 ただし、投与速度は5mL/分を超えないよう設定してください。																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">投与時期</th> <th colspan="3">投与速度 (mL/分)</th> </tr> <tr> <th>投与開始 0~30分</th> <th>投与開始 30~60分</th> <th>投与開始 60分以降</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">第1サイクル</td> <td>初回投与</td> <td>0.5</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>2回目投与</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>3及び4回目投与</td> <td colspan="2">5</td> </tr> <tr> <td>第2サイクル以降</td> <td colspan="3">5</td> </tr> </tbody> </table>				投与時期	投与速度 (mL/分)			投与開始 0~30分	投与開始 30~60分	投与開始 60分以降	第1サイクル	初回投与	0.5	2	2回目投与	3	4	3及び4回目投与	5		第2サイクル以降	5		
投与時期	投与速度 (mL/分)																							
	投与開始 0~30分	投与開始 30~60分	投与開始 60分以降																					
第1サイクル	初回投与	0.5	2																					
	2回目投与	3	4																					
	3及び4回目投与	5																						
第2サイクル以降	5																							
Evidence	エムプリシティ・レブラミド添付文書 エムプリシティ適正使用ガイド																							
備考																								
がん化学療法委員会承認日: 2022年 5月 16日																								